

参考資料

2014年度第1四半期 業績の概要

2014年8月8日
ソニー銀行株式会社

損益の状況(1):財務会計ベース

< 連結・単体 >

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

(億円)

< 連結 >

- **連結業務粗利益**
前年同期比5億円減少の58億円。
主にお客さまの外貨取引が減少したことにより減益。
- **連結経常利益**
同5億円減少の17億円。
- **連結四半期純利益**
同3億円減少の11億円。

< 単体 >

- **業務粗利益**
連結同様、お客さまの外貨取引減少を主因に、
同6億円減少の52億円。
資金運用収支は、市場金利低下の影響で主に
有価証券運用に係る利息収支が減少したことから
減少。
- **経常利益**
同5億円減少の17億円。
- **四半期純利益**
同3億円減少の11億円。

	< 3ヶ月累計 >	2013年度 1Q	2014年度 1Q	前年同期比	
連結	業務粗利益	64	58	5	8.9%
	経常利益	22	17	5	22.9%
	四半期純利益	14	11	3	22.7%
単体	業務粗利益	59	52	6	10.5%
	資金運用収支	45	41	3	7.8%
	役務取引等収支	0	2	2	-
	その他業務収支	14	13	0	4.5%
	営業経費	36	37	+0	+2.5%
	業務純益	22	15	7	31.0%
	経常利益	22	17	5	25.4%
四半期純利益	14	11	3	23.9%	

当期より、有価証券の金利リスクヘッジに係るコストの計上科目を変更しました。
そのため、2013年度1Qにつきましても、当期と同様に計上した場合の金額を記載しています。

損益の状況(2) : 社内管理ベース

< 単体 >

- コアベース業務粗利益は、主にお客さまの外貨取引が減少したことにより、前年同期比6億円減少の44億円。
- 資金利鞘は0.91%と一定の水準を確保。

(億円)

< 3ヶ月累計 >	2013年度 1Q	2014年度 1Q	前年同期比	
業務粗利益	59	52	6	10.6%
資金収支*1	45	44	0	2.1%
手数料等収支*2	4	0	5	-
その他収支*3	8	8	0	1.4%
コアベース業務粗利益(A) = +	50	44	6	12.2%
営業経費等	35	36	+0	+ 1.1%
コアベース業務純益 = (A) -	14	7	6	45.0%

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

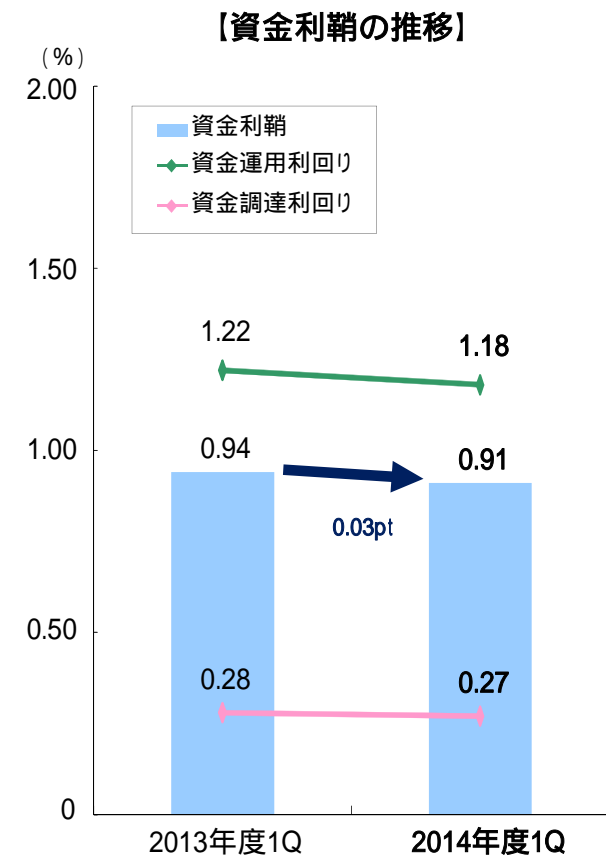
社内管理ベース 損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの

*1 資金収支... 資金運用収支 + その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)

*2 手数料等収支... 役務取引等収支 + その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益

*3 その他収支... その他業務収支より*1と*2の調整分を控除したもの。主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益

コアベース 社内管理ベースのその他収支(主に債券関係損益およびデリバティブ関連損益)を除いたもので、当社の基礎的な収益を表すもの

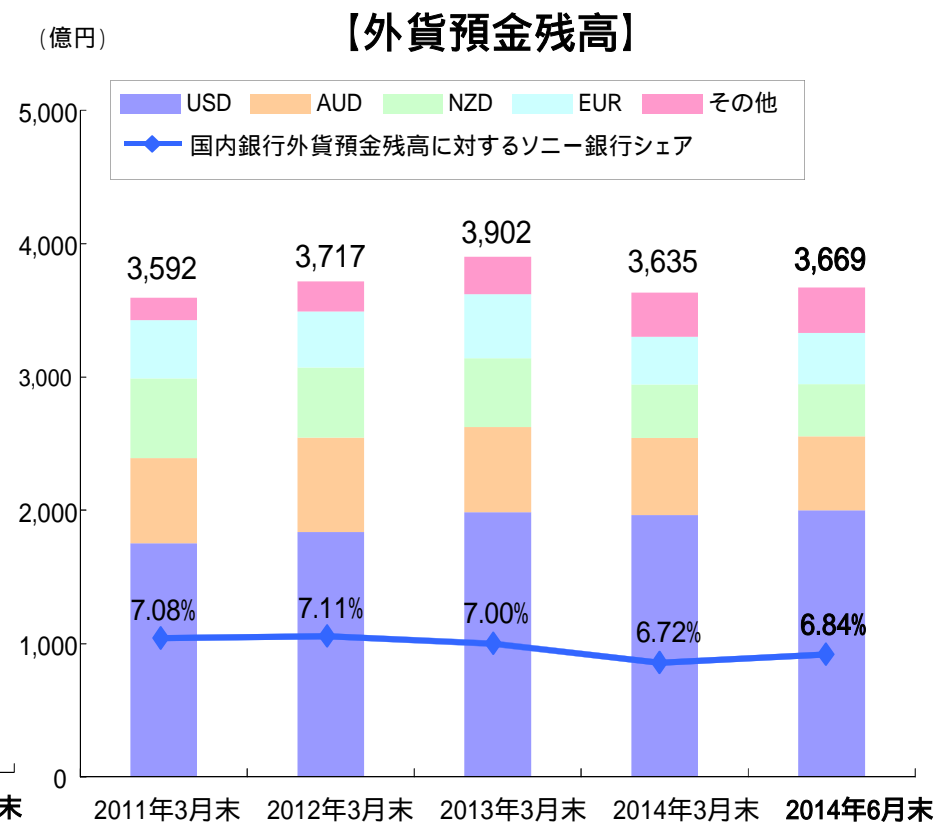
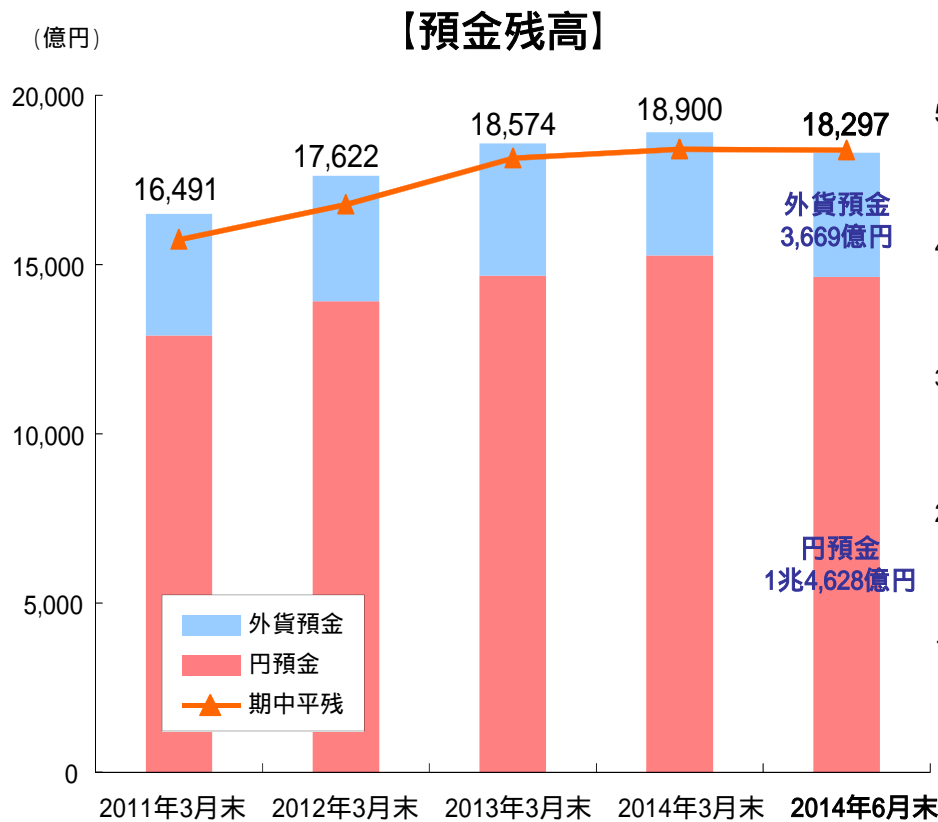


預金の状況

< 単体 >

- 預金残高は、外貨預金が増加に転じた一方で円預金は減少し、前年度末比603億円減少の1兆8,297億円。
- 2014年6月末の預かり資産残高(預金 + 投資信託)は1兆9,500億円。

金額は億円未満切捨てで表示

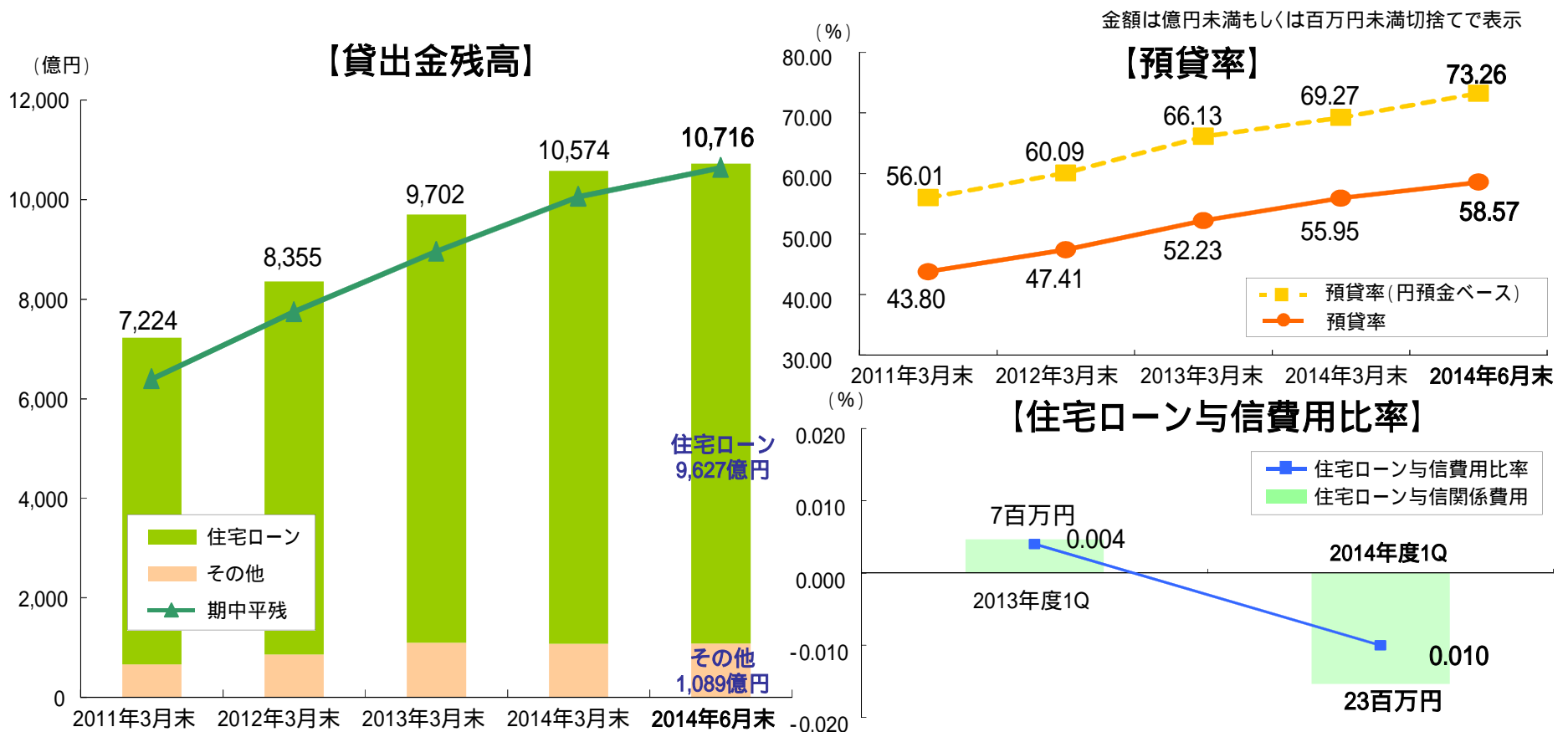


国内銀行外貨預金残高出所: 日銀統計 個人外貨預金未残

貸出金の状況

< 単体 >

- 貸出金残高は、住宅ローンを中心に前年度末比142億円増加し1兆716億円。預貸率は58.57%と着実に向上。
- 住宅ローン与信費用比率は、貸倒引当金戻入益が生じた影響で 0.010%。

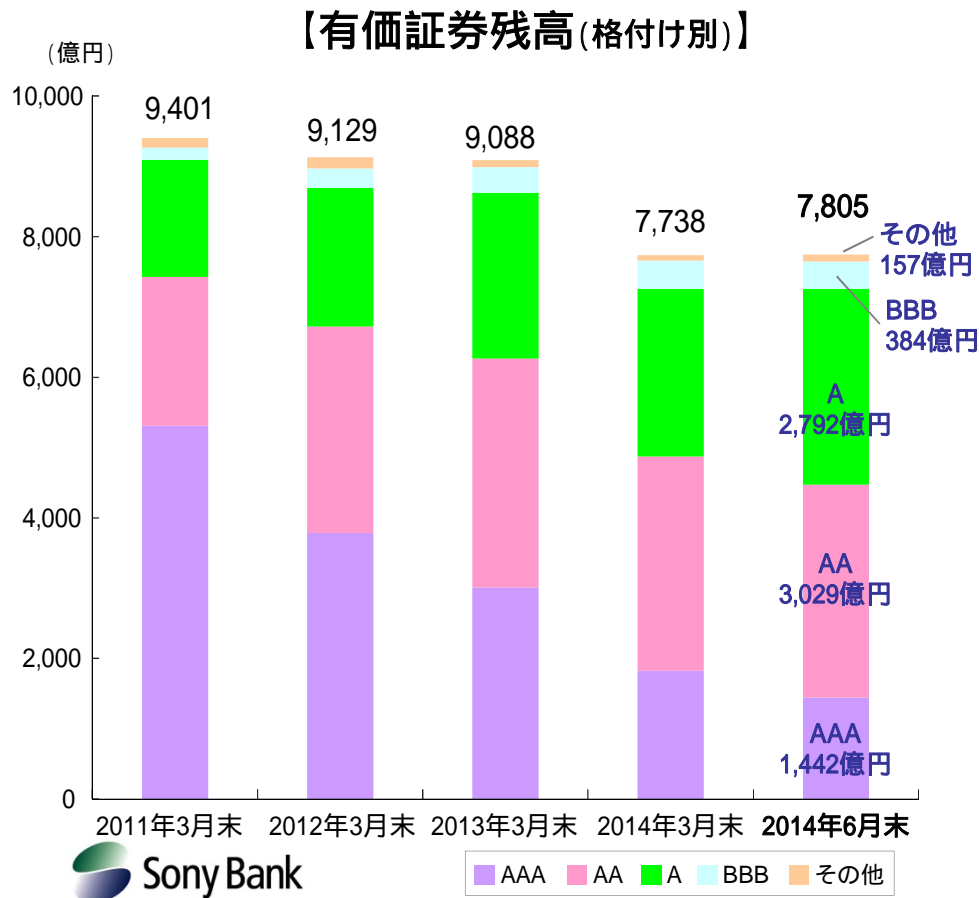


有価証券の状況

< 単体 >

- 有価証券は、高格付けの債券で安定的に運用。引き続き、AAA～A格の債券が全体の9割強を占める。残高は前年度末比67億円増加の7,805億円。
- その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)は98億円。

金額は億円未満切捨ててで表示



【その他有価証券の内訳】 (億円)

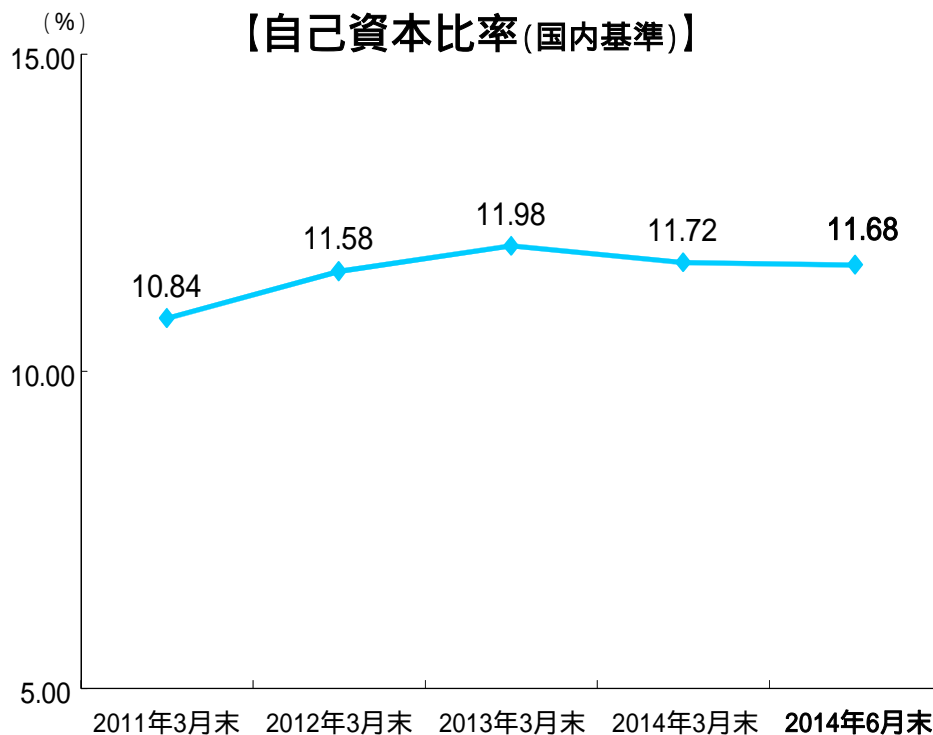
	2014年3月末	2014年6月末
債券	3,047	2,645
国債	888	647
地方債	567	571
社債	1,591	1,426
その他	4,586	5,057
外国債券	4,550	5,019
その他の証券	35	37
合計	7,634	7,702
< その他有価証券評価差額金 (税効果会計適用前) >	< 106 >	< 98 >

時価のあるその他有価証券の貸借対照表計上額内訳

自己資本比率・格付け情報

< 単体 >

- 自己資本比率は11.68%と健全な水準を維持。



平成18年金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出。なお、2014年3月末より、バーゼル ベースへ移行。

【格付け(2014年6月末現在)】

スタンダード&プアーズ	
長期カウンターパーティ格付け「A+」	アウトルック「ネガティブ」
短期カウンターパーティ格付け「A-1」	
日本格付研究所	
長期発行体格付「AA-」	見通し「安定的」